

津山の未来を照らす八策となるか!?

6月定例会で谷口新市長が所信表明



今回の定例会では、新市長として市政運営を行うに当たり、谷口圭三市長が信念や方針などを明らかにする所信表明を行いました。所信表明では、津山市が取り組むべき3つの重要課題と、それに向けた8つの具体策が示されました。

津山市の重要課題

- ・ 財政再建の断行と経済活性化
- ・ 少子高齢化の抜本対策
- ・ 将来を見据えた人材育成



課題解決に向けた八策(概要)

- 一 拠点都市にふさわしい都市機能の整備**
 - 県北自治体との連携強化
 - 城東地区に「まちの駅」を開設
- 二 安心して子どもを産み育てられる多世代共生**
 - 保育料の段階的無償化
 - 放課後児童クラブの増設・充実
- 三 雇用の安定と定住**
 - 市長の人脈と職員のネットワークを活用した企業誘致活動
 - 移住トータルサポート体制の強化
 - 地域企業の魅力発信
- 四 地域産業の発展**
 - 農林部の設置
 - 地域材を利用した新築住宅の補助拡充
 - 企業投資を促すため固定資産税の免除制度を創設
- 五 将来を見据えた人材育成**
 - 岡山大学、津山商工会議所との産学官連携による人材育成
- 六 多様な教育機会の充実**
 - 学校ICT環境整備
 - 教師業務アシスタントの全校配置
 - スポーツ大会・合宿補助によるスポーツ交流人口の増加
- 七 歴史と文化に誇りを持った観光都市としての発信**
 - 外国人観光客の受入環境整備
 - 集客30万人イベントの開催
 - 戦略的な観光のまちづくりを推進する津山版DMOの形成
- 八 行財政改革の断行と効率的な行政運営**
 - 早期の事務事業の点検評価と予算反映
 - 国・県への職員派遣拡大や民間企業研修の検討

第2子の保育料を一部無償化など 子育て・教育支援を追加・拡充

谷口市長の所信表明にあわせて、追加事業などが示されました。子育て・教育の分野では、第2子の保育料の一部無償化、学校ICT環境の全校整備などの事業が追加・拡充されました。

第2子の保育料を一部無償化…2,271万円

現在、第3子以降を完全無償化している保育園・幼稚園などの保育料について、所得制限（推定年収360万円以下の世帯）を設けた上で3～5歳までの第2子も無償化します。（本年9月分より）

学校ICT環境整備の前倒し実施…1,531万円

タブレットやデジタル教科書を使うことで視聴覚効果の高い授業が可能となる学校ICT環境整備を前倒し、本年度中に全小中学校に整備します。（大規模改修中の4校を除く）

教師業務アシスト員・部活動指導員の配置…567万円

教職員業務の負担軽減による教育の質と学力の向上を目的とし、現在、一部の小中学校に配置している教師業務アシスタントを全校配置します。また、中学校の部活動指導員についても全校配置します。

